

LinkedIn ラーニングおよび Saba LMS 詳細統合ガイド

2021 年 6 月 28 日

この文書を読む時間の目安は 8 分です

この文書の内容

以下の手順では、LinkedIn ラーニングと Saba LMS の詳細統合プロセスについて説明します。

1. SAML SSO を設定します (サードパーティの IdP または LTI を使用)。



2. コンテンツカタログ同期用の LinkedIn ラーニング API キーのプロビジョニングを行い、Saba コンテンツコネクタを設定します。



3. Saba で LinkedIn ラーニングコンテンツを管理します。



4. Saba および LinkedIn ラーニングで
xAPI 受講者レポートを設定します。



5. 以上で操作は完了です。受講者は、Saba インスタンスを使用して
LinkedIn ラーニングコンテンツとレポートにアクセスできるようになりました。



Saba 詳細統合の機能性

認証: SAML SSO ID プロバイダー、LTI

レポート: xAPI

コンテンツ検索: 自動カタログ同期 (すべての言語)

必須条件:

- アクティブな Saba LMS インスタンス
- アクティブな LinkedIn ラーニングアカウント
- LinkedIn ラーニングの管理者権限
- Saba LMS インスタンスの管理者権限
- LinkedIn ラーニングコネクタのための Saba ライセンス

統合の概要

Saba の統合のメリットと機能については、[こちら](#)をクリックしてください。

SSO (シングルサインオン)

LinkedIn ラーニングは、初期設定時に、シングルサインオン (SSO) の安全な接続を確立して、コンテンツへのシームレスで安全なアクセスを実現するように設定できます。SSO 認証により、手動のユーザー登録が不要になるため、ユーザーと管理者の負担が軽減されます。**SSO**を使用すると、受講者はコンテンツの視聴に多くの時間を費やすことができ、ユーザー名とパスワードを記憶する手間を省くことができます。

- **SAML SSO (推奨):** あなたの組織が Azure AD、Okta、ADFS などの SAML 準拠 ID プロバイダー (IdP) をお持ちである場合、それらのプロバイダーを設定して LinkedIn ラーニング認証を管理することができます。LinkedIn ラーニングに受講者の仕事用メールアドレスを送信するように接続を設定する必要があることに注意してください。LinkedIn ラーニングにメールアドレスがリリースされない場合、受講者アクティビティの追跡とレポートは Saba で機能しません。設定プロセスの詳細については、[SSO 実装ガイド](#)を参照してください。
- **LTI SSO:** あなたの組織が SAML 準拠の IdP をお持ちでない場合、直接 LTI を使用して認証を管理するように Saba と LinkedIn を設定できます。この場合、受講者は Saba からすべてのコンテンツを起動する必要があります。受講者は LinkedIn ラーニングに直接アクセスできません。設定の詳細については、この文書の付録の [LTI 認証の設定](#)を参照してください。

自動コンテンツカタログ同期

LinkedIn ラーニングライブラリには数千ものコースがあります。毎週 25-30 のコースが追加され、追加料金はかかりません。これまで、コンテンツ検索プラットフォームの管理者は、定期的に新しいコンテンツを手動でアップロードしていました。しかし、Saba との詳細統合では、LinkedIn ラーニング API を使用して、毎日コンテンツライブラリを動的に更新します。これにより、新しい LinkedIn ラーニングコンテンツがリリースされると、24 時間以内に利用できるようになります。

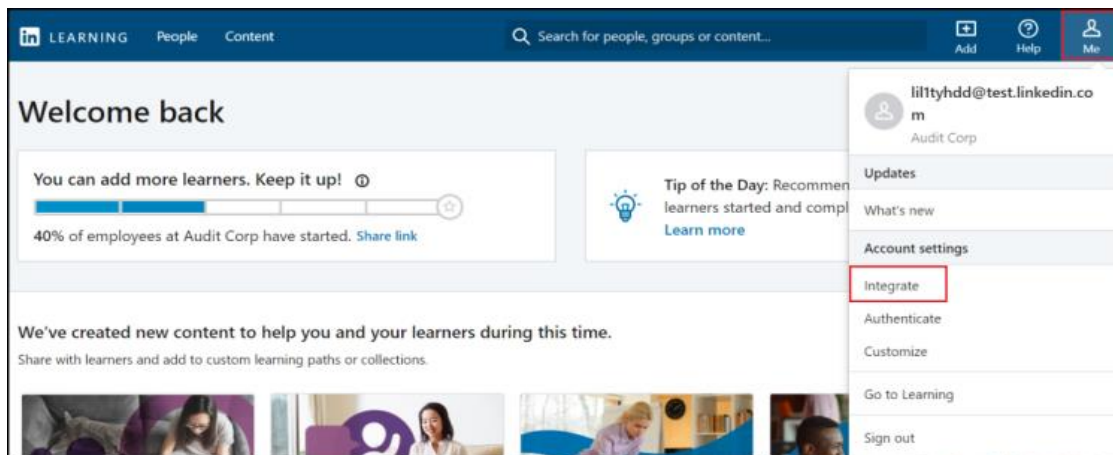
全コンテンツのタイトルと説明が収集され、インデックスが作成されるため、キーワード検索に対応しており、効率的にコンテンツを見つけられます。Saba は、すべての言語 のコンテンツライブラリの自動同期をサポートしています。

設定

LinkedIn ラーニングコンテンツ API キーのプロビジョニング

LinkedIn ラーニングコンテンツ API で認証を行うには、LinkedIn ラーニングの管理者設定で OAuth 2.0 キーをプロビジョニングする必要があります。キーのプロビジョニングは、次の手順で行います。

1. ログインした後、[管理者] 画面にいない場合は、[管理者ページ] を選択し、[プロフィール] > [統合] の順に選択します。



2. 左側のナビゲーションメニューから [API 経由でコンテンツとレポートにアクセス] を選択します。
3. [アプリケーションの追加] をクリックします。

Settings

Integrate Authenticate Customize

Add content to your LMS via AICC

Configure LTI integration

Configure reporting integrations

Access content and reports via API

Download a catalog of our courses

Access content and reports via API

Generate LinkedIn Learning REST API Application

Enable API access to query LinkedIn Learning activity data for your account. The client ID and client secret of the application can be used to generate security tokens to grant access to the LinkedIn Learning REST API.

0 applications

Add application

Name	Description	Keys	Client Id	Client Secret
No applications added				

4. アプリケーション名として「Saba connector」を使用します。
5. アプリケーションの説明フィールドに、統合のユースケースの簡単な説明を入力します。例えば、「Saba 詳細統合」などです。
6. [キーを選択] には、[コンテンツ] と [レポート] の 2 つのチェックボックスがあり、[コンテンツ] を選択します。
7. [次へ] をクリックして、「利用規約」に同意します。

Add LinkedIn Learning API application

Need help? See [this help article](#) to learn how to add a LinkedIn Learning API application.

Application Name*
Saba connector 14/40

Application description*
Saba deep integration 21/200

Choose keys
☒ Content
☐ Report

* Required

Cancel Next

8. API キーを生成したら、次のセクションで使用する クライアント ID とクライアント秘密キーを保存します。

Saba コンテンツコネクターの設定

このセクションでは、2つのシステム間のコンテンツの同期を可能にするために必要な手順を確認します。続行する前に、**LinkedIn ラーニングアカウントに対して SSO が設定され、完全に有効になっていることを確認してください**。SSO の設定を完了する前にコンテンツの同期を有効にすると、コースを開始できなくなります。

1. 管理者として Saba にログインします。
2. [Admin] > [Marketplace] の順に進みます。

3. [LinkedIn Learning Connector] を選択して、設定カードを起動します (以下を参照)。

SABA コンテンツコネクター設定

Saba の LinkedIn ラーニング フィールド (上記)	説明
クライアント ID	最後のセクションで取得した LinkedIn ラーニングクライアント ID の値。この値は、LinkedIn ラーニングのコンテンツカタログ API を介してコンテンツを同期するために使用されます。
クライアント 秘密キー	最後のセクションで取得した LinkedIn ラーニングクライアント秘密キーの値。この値は、LinkedIn ラーニングのコンテンツカタログ API を使用してコンテンツを同期するために使用されます。
コンシューマ ーキーとコン	LTI 認証のためのキー。LTI は、SAML の代わりとなる認証です。組織で SAML SSO 認証を使用している場合は、両方のフィールドを空白にしておく必要があります。

SABA コンテンツコネクター設定

Saba の LinkedIn ラーニング フィールド (上記)	説明
シューマー秘密キー	これらのフィールドに、LinkedIn ラーニングの API キーをコピーして貼り付けないでください。
言語の インポート	インポートする LinkedIn ラーニングロケールのリスト。英語ライブラリをインポートするには、「en_US」と入力します。多言語ライブラリへのアクセスを購入し、すべての言語をインポートする場合は、「en_US,es_ES,fr_FR,ja_JP,de_DE,pt_BR,zh_CN」と入力します。注: 言語コードは、スペースは入れず、カンマでのみ区切ります。購入した言語がわからない場合は、LinkedIn ラーニングテクニカルコンサルタントまたはカスタマーサクセスマネージャーにお問い合わせください
ドメインの インポート	これは、コンテンツ、クラス、およびコースを作成するドメインです。選択する値が不明な場合は、Saba のサポートにお問い合わせください。

LINKEDIN LEARNING

LinkedIn Learning Client Id: *

LinkedIn Learning Client Secret: *

LinkedIn Learning Content Languages: *

LinkedIn Learning Consumer Key:

LinkedIn Learning Consumer Secret:

Saba Activation key:

Saba Client Id:

Saba Client Secret:

Saba Profile Identifier: *

EMAIL

Saba Import Domain: *

world

Saba User: *

liladmin

☒ Create WBT Course in Saba

Saba Content Folder: *

linkedin_learning

Saba Keywords:

Saba Mobile Compatibility:

allDevices

Saba Player Template: *

New Window Standard Template

Saba Creator for Ad-hoc Transcripts:

Saba フィールド (上記)	説明
アクティベーション キー	統合を有効にするには、Saba からコネクターサブスクリプションを購入する必要があります。Saba サポートまたは Saba アカウントマネージャーに問い合わせ て購入してください。購入すると、このフィールドにはアクティベーションキーが自 動的に入ります。

Saba フィールド (上記)	説明
プロフィール 識別子	2つのシステム間で受講者の完了を伝えるために使用されるフィールド。推奨されるオプション: メールアドレス
クライアント ID	最初のセクション で取得した Saba クライアント ID の値。xAPI.レポーティングにはこの値を使います。
クライアント 秘密キー	最初のセクション で取得した Saba クライアント秘密キーの値。xAPI.レポーティングにはこの値を使います。
ドメインの インポート	これは、コンテンツ、クラス、およびコースを作成するドメインです。選択する値が不明な場合は、Saba のサポートにお問い合わせください。
Saba ユーザー	Saba クラウドのユーザー名を入力します。入力されたユーザー名は、インポートされたコンテンツおよび作成された WBT コースの所有者として設定されます。[Create WBT Course in Saba] オプションが有効になっている場合は、有効な Saba クラウドのユーザー名を入力する必要があります。入力しない場合、WBT の作成ステップは失敗します。
コンテンツ フォルダー	LinkedIn コンテンツの同期先となるコンテンツリポジトリ内のフォルダー名を指定します。
キーワード	コンテンツのキーワード。これらはコースのキーワードではありません。
モバイルの互換性	モバイルデバイスでのコースの互換性を示します。 推奨されるオプション: allDevices
プレイヤー テンプレート	Saba は、このフィールドの値として「New Window Standard Template」を使用することを推奨しています。 注: LinkedIn ラーニングページは iFrame ではレンダリングできません。
Ad-hoc トランス クリプトの作成者	有効な Saba クラウドのユーザー名を入力します。ユーザー名は、スーパーユーザーであるか、Saba で Ad-hoc トランスクリプトを作成する権限を持つユーザーのものである必要があります。このユーザー名を追加すると、Saba はコース登録なしで、完了したコースを「完了」とマークします。

4. 必須フィールドに入力後、ページの下部にあるチェックボックスをオンにして、Saba の規約に同意します。
5. [Save] をクリックします。
6. 設定を確認するには、コネクタモーダルを再度開き、[TEST] ボタンをクリックします。
7. テストにパスすると、コンテンツを同期できます。[SYNC CONTENT] をクリックします。

The screenshot shows the 'LINKEDIN LEARNING' modal window in the Saba Admin interface. The modal has a title bar with 'LINKEDIN LEARNING' and a close button. Below the title bar, there are several input fields for configuration: 'CLIENT ID: *', 'CLIENT SECRET: *', 'XAPI CLIENT ID:', 'XAPI CLIENT SECRET:', 'CONSUMER KEY:', 'CONSUMER SECRET:', 'INTEGRATION URL:', 'IMPORT LANGUAGE: *', and 'IMPORT DOMAIN: *'. Each field has a corresponding help icon (i) to its right. At the bottom of the modal, there are four buttons: 'AUDIT DETAILS', 'SYNC CONTENT', 'DISABLE', and 'SAVE'. The 'SYNC CONTENT' and 'SAVE' buttons are highlighted with red rectangles.

同期ステータスの確認

Saba と LinkedIn ラーニングの同期が成功したかどうかは、次の手順に従って確認します。

1. Saba 管理者インターフェイスで [System Admin] > [Manage Integrations] の順に選択します。

2. 「LINKEDIN_LEARNING_BULK_CONTENT_IMPORT」を見つけ、[Monitor] を選択します。
3. ステータス列に「Completed」と表示されている場合は、コースの同期が完了しています。[Completed] をクリックしてインポート統計を表示するか、[DOWNLOAD LOGS] をクリックしてインポートの詳細を表示します。

Import Monitoring : LINKEDINLEARNING:BULK_CONTENT_IMPORT

Input File: Object Name: Start Date >= Start Date <=

Timezone: (GMT-05:00) Eastern Time (US & Canada)

START DATE	INPUT FILE	IMPORT OBJECT	STATUS	ERROR	ACTIONS	END DATE	MODIFIED DATE
12-FEB-2019 5:34 PM	linkedin_learni...	Bulk Content L...	Completed		<input type="button" value="DOWNLOAD LOGS"/>	12-FEB-2019 5:34 PM	12-FEB-2019 5:35 PM

1-1 of 1

Saba での LinkedIn ラーニングコンテンツの管理

Saba で LinkedIn ラーニングコンテンツを管理するには、次の手順に従います。

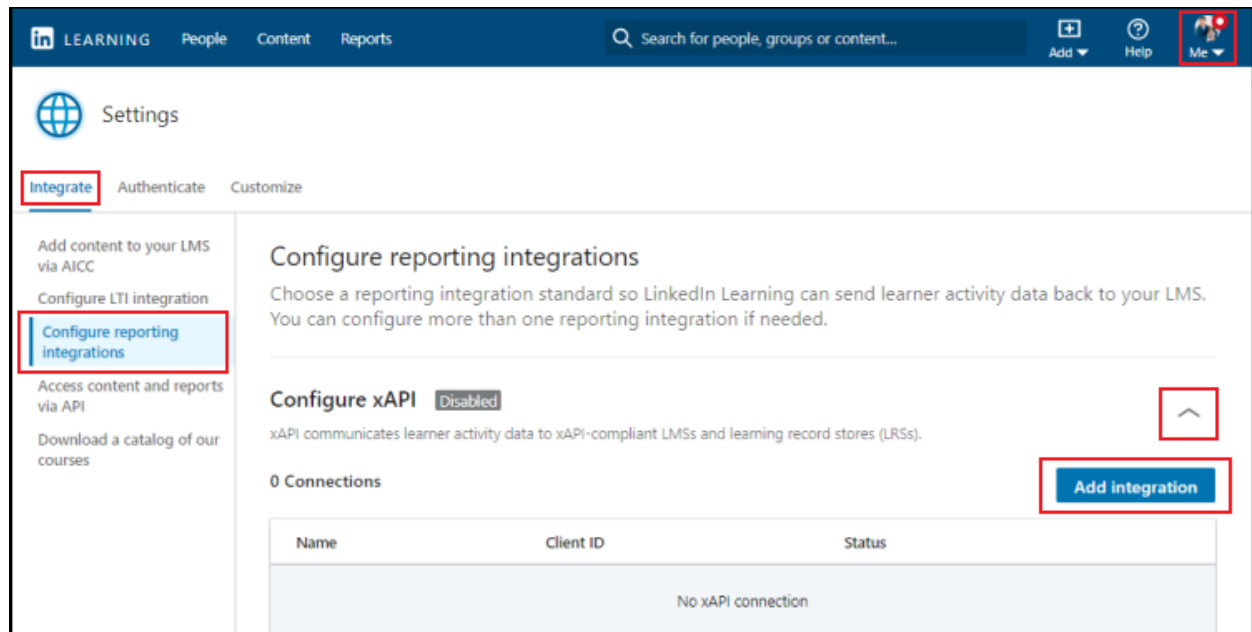
1. Saba 管理者インターフェイスで、[Learning] > [Manage Content] > [Content Library] の順に選択します。
2. [Production Repository]セクションで、コネクタの設定時に指定したコンテンツフォルダーを選択します。
3. WBT を作成することを選択した場合は、「Manage Learning Catalog」の下に作成したコースが表示されます。

xAPI アクティビティトラッキングの設定

xAPI 受講者アクティビティトラッキングを設定するには、次の手順を実行します。

1. Saba 管理インターフェイスで [Marketplace] を選択してコネクタ設定カードに戻ります。

2. 以下の手順 8 で使用する Saba のクライアント ID とクライアント秘密キーをコピーします。
3. LinkedIn ラーニングの管理者設定から、[プロフィール] > [統合] > [レポート統合を設定] へと進みます。
4. [xAPI を設定] セクションを展開します。
5. [統合を追加] をクリックします。



6. [統合名] フィールドに、「Saba reporting」と入力します。
7. [ユーザータイプ] フィールドで、「メール」を選択します。
8. 上記の手順 2 でコピーした値を [クライアント ID] フィールドと [クライアント秘密キー] フィールドに貼り付けます。
9. OAuth およびテナントサーバーの URL を構築するには、Saba のベース URL を検索し、ホスト名に「-api」を追加してから、次のパスを追加します。
 - ベース URL: `https://[sabacloud-tenant].sabacloud.com`
 - API ベース URL: `https://[sabacloud-tenant]-api.sabacloud.com`
 - OAuth URL: `https://[sabacloud-tenant]-api.sabacloud.com/v1/oauth2/token`
 - テナント URL: `https://[sabacloud-tenant]-api.sabacloud.com/v1/public/lrsapi/statements`

例えば、Saba のベース URL が `https://examplecompany.sabacloud.com` の場合、OAuth およびテナントサーバーの URL は次のようになります。

- OAuth URL: `https://examplecompany-api.sabacloud.com/v1/oauth2/token`
- テナント URL: `https://examplecompany-api.sabacloud.com/v1/public/lrsapi/statements`

値を生成したら、LinkedIn ラーニング管理者ページの該当フィールドに値を入力します。

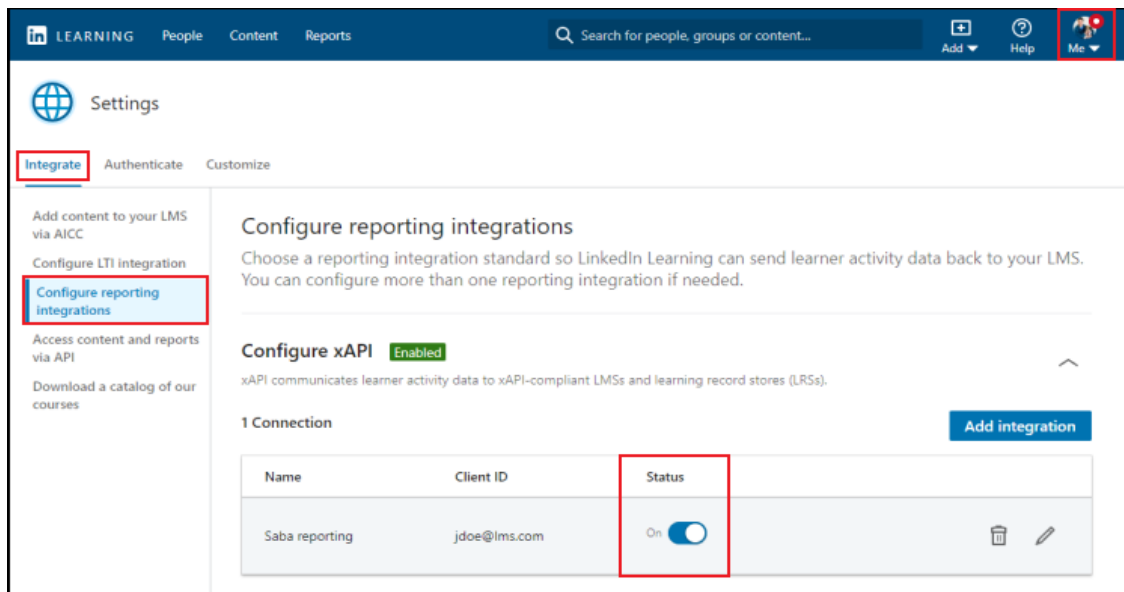
10. [有効にする] をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "Add xAPI integration" with a close button (X) in the top right corner. Below the title bar, there is a link: "Need help? Review the [LinkedIn Learning xAPI Admin Guide](#)." The form contains six fields arranged in two columns:

- Integration name *: Saba reporting
- User Type *: Email (dropdown menu)
- OAuth Server URL *: `https://examplecompany-api.sabacloud.com/v1/oauth2`
- Tenant Server URL *: `https://examplecompany-api.sabacloud.com/v1/pi`
- Client ID *: hugh@gmail.com
- Client Secret *:

At the bottom left, there is a note: "* Required". At the bottom right, there are two buttons: "Cancel" and "Enable". The "Enable" button is highlighted with a red border.

これで、LinkedIn ラーニングで Saba xAPI キーが有効になりました。

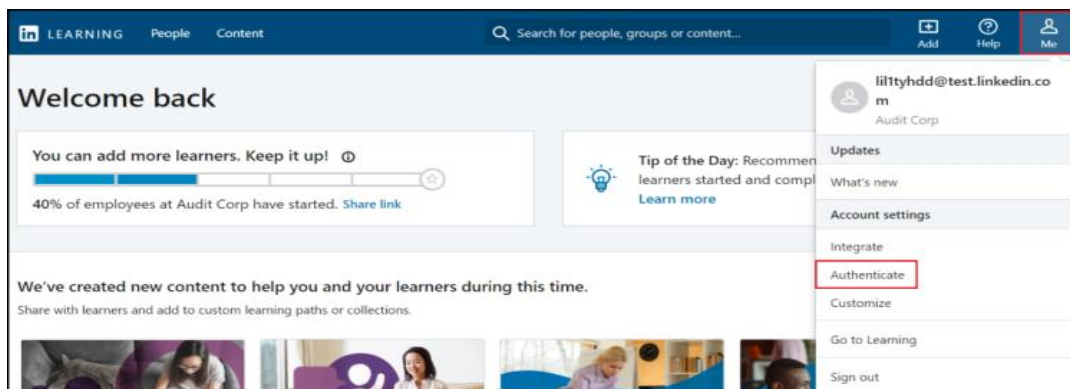


付録

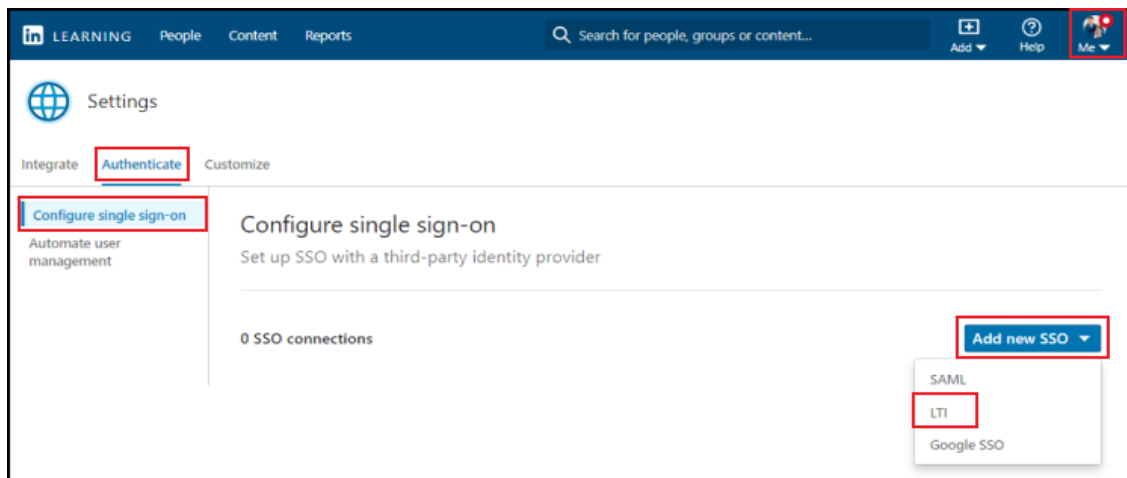
LTI 認証の設定

受講者認証に LTI SSO を使用したい場合は、次の手順に従って、LinkedIn ラーニングでキーのプロビジョニングを行います。

1. LinkedIn ラーニングの管理者設定のナビゲーションヘッダーより、[プロフィール] > [認証] の順に選択します。



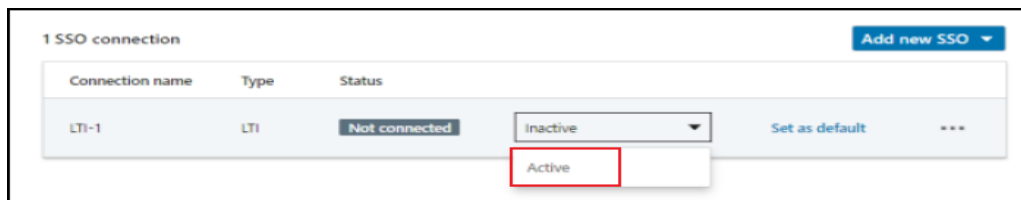
2. [シングルサインオンの設定] セクションで、[新規 SSO を追加] > [LTI] の順に選択します。



3. [LTI SSO でユーザーを認証] ウィンドウで、[SP 起点のリダイレクト URL] フィールドに次の URL を入力します。

[https://\[sabacloudtenant\].sabacloud.com/Saba/ltiauthentication.jsp?vendor=lil](https://[sabacloudtenant].sabacloud.com/Saba/ltiauthentication.jsp?vendor=lil)

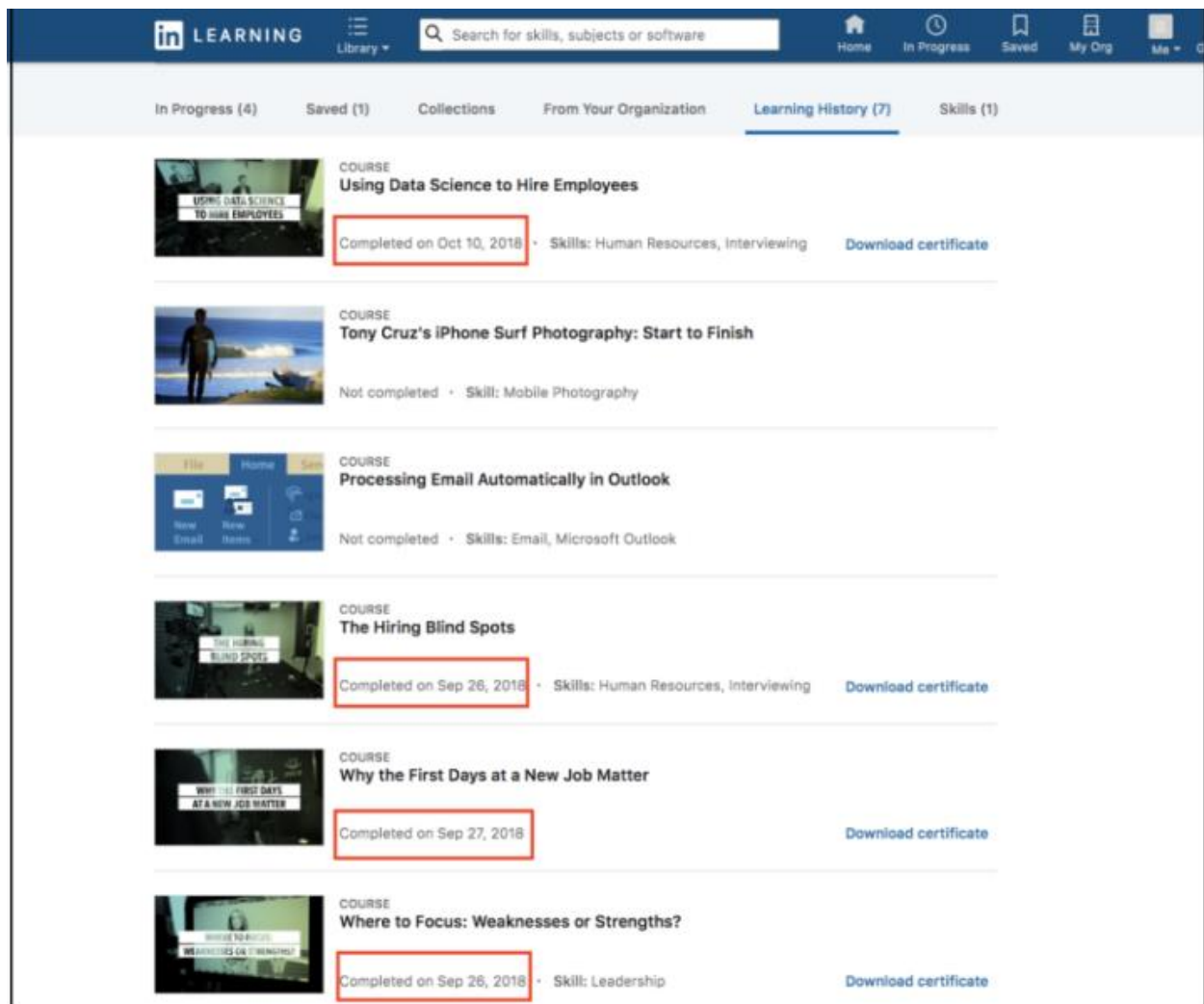
4. [キーを生成する] をクリックします。[[Saba コンテンツコネクターの設定](#)] セクションで参照できるよう、コンシューマーキーとコンシューマー秘密キーの値を保存します。
5. [保存] をクリックして、接続ステータスを「有効」に設定します。



コース修了のトラブルシューティング

修了の通知を Saba に送信するには、次の条件を満たしている必要があります。

- 受講者の Saba メールアドレスは、ユーザーの LinkedIn ラーニングのメールアドレスと一致している必要があります。Saba で同じ電子メールに複数のユーザーが設定されている場合、完了の処理ができません。
- 修了したコースは Saba カタログにインポートする必要があります。Saba で作成されていないコースのアクティビティを表示するには、Saba の Discovery Extension を購入します。Discovery の詳細については、Saba にお問い合わせください。購入後、[Profile] > [Activity] > [Saba Discovery] で個々の受講者のアクティビティを見つけることができます。
- 受講者は、コースを完全に修了している必要があります。LinkedIn ラーニングでコースの修了を確認するには、[視聴中のコース] > [学習履歴] を選択し、完了日を確認します。



上記の 3 条件が満たされている場合、専任のテクニカルコンサルタントに以下の情報を提供してください。

- ユーザーのメールアドレス
- 完了したコースの名前
- コースが完了した日付

以上で操作は完了です。受講者は、Saba LMS インスタンスから LinkedIn ラーニングのコンテンツやレポートにアクセスできるようになりました。

お問い合わせ

さらに技術的なサポートが必要な場合は、[Saba のカスタマーサポート](#)にお問い合わせください。**(Saba の技術サポートを受けるには、Saba のメンバーとしての登録が必要です)**。

LinkedIn ラーニングの設定に関するご意見・ご質問については、専任のカスタマーサクセスマネージャーにお問い合わせください。